

会議録

会議の名称	第 12 回 西東京市産業振興マスタープラン策定委員会
開催日時	平成 23 年 1 月 26 日 10 時から 11 時 30 分まで
開催場所	西東京市役所 保谷庁舎 4 階第 3 会議室
出席者	委員：板橋、奥田、斉藤、櫻井、野見山、本橋、村田 事務局：西東京市生活文化スポーツ部 産業振興課 萱野、宮坂、森野、杉野 コンサルタント：2 名
議題	開会 (1) 第 11 回西東京市産業振興マスタープラン策定委員会議事録について (2) パブリックコメント検討結果（案）について (3) その他 1 報告事項（第 11 回西東京市産業振興マスタープラン策定委員会で会長預かりになった事項について） 2 その他
会議資料の名称	資料 1 西東京市産業振興マスタープラン報告書（案） 資料 2 パブリックコメント検討結果（案）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>(1) 会長代行について</p> <p>○事務局： 本日は会長と副会長ともに欠席の連絡があったため、委員会設置要綱第 10（委任）にもとづき、会長より、斉藤委員に会長代行を委任する指示があった。このため本日は斉藤委員が会長代行として、委員長の議長を務めるものとする。</p> <p>○斉藤委員： 会長に代わって議長を務めさせて頂く。</p> <p>(2) 第 11 回西東京市産業振興マスタープラン策定委員会議事録について</p> <p>○事務局： 議事録について事前確認させていただいたところ、期日までに修正要望等はなかったため、事前確認時のものを議事録として確定し、公開する。 (異議なし)</p> <p>(3) パブリックコメント検討結果（案）について</p> <p>○事務局： パブリックコメントは西東京市が回答する立場にあることから、回答はそのような形で文言等を表現させていただいている。パブリックコメント一覧表の項目 1 については、産業振興マスタープランへの反映を考えているが、当策定委員会としての報告書にも盛り込むかどうかを検討頂きたい。</p>	

○会長代行：

項目 1 を報告書に入れるかどうか検討する。

○委員：

介護福祉をサービス業として位置づけるのか？市はどこに盛り込むことを想定しているのか。

○事務局：

高齢担当課に確認したところ、平成 24 年度に市内に特別養護老人ホーム等福祉施設 3 棟が建設される予定であるが、それ以上の誘致・建設の予定はない。新たな産業としての振興は困難だが、小規模多機能ホームや民間施設など福祉関係は雇用の受け皿として可能性があると考えられる。報告書（案）の 44 ページの最後の 3 行を、「産業を振興するとともに、介護や福祉の分野も視野に入れ雇用を拡大し」という文面を想定している。

○委員：

介護は私的と公的どちらを多く想定しているのか。

○事務局：

私的が多いと思われる。

○委員：

報告書は当委員会としての集約であるから、パブリックコメントへの対応は委員会としての報告書の範囲外と考えて良いのではないか。

○会長代行：

今の意見を踏まえ、パブリックコメントへの対応については、市が作成する「産業振興マスタープラン」に、市がパブリックコメントを汲み取って反映させるとすることでよいか。
(異議なし)

○委員：

パブリックコメントの項目 2 の意見で、三鷹市的、武蔵野市的とあるが、事務局はこれをどういう意味と受け止めたのか。例えば三鷹市は SOHO、武蔵野市は商業のイメージがある。

○事務局：

これまで当委員会で相当議論しており、各委員から頂いた意見の集約をしこれを実行することこそが、西東京市としての産業振興と考えている。

○委員：

報告書（案）の 11 ページの表が 5 市で、三鷹市や武蔵野市の予算がないので、5 市の姿を目指していると捉えられてしまったのではないか？三鷹市や武蔵野市の産業振興関連予算とこれほど違うということをいいたいのでは。

○事務局：

11 ページの表は、現状認識をするためのデータであり、目指すべき考え方は含まれていない。西東京市としての産業振興は、どこか他都市を目指すというのではなく、市の資源を活かしてやっていきたいと考えている。

○会長代行：

この件については、現行のままでいくこととしたい。

(異議なし)

○委員：

項目 6 に西東京市の産業振興関連予算が 58 百万円という意見内容となっているが、事実と違い勘違いされている。訂正して差し上げるべきではないか。例えば、商工関係で 1 億 8,400 万円、農業関係で 8,000 万円ですがという方が親切ではないか。

○事務局：

回答は公表するものなので、この件については、意見を出された方に個別にお知らせすることとしたい。

○委員：

項目 12 に対する回答が、「数値化が可能な事業については明記します」となっているが、明記したものと、そうでないものがあったのがある。この件に関しては、委員意見に掲載されていてありがたいと思っているが、パブリックコメントの回答でも「一部数値化していない部分があるが、現在はここまでとし、平成 24 年度に設置予定の推進委員会に引き継がれるであろう」という旨の表記をしてもらえると嬉しい。

○事務局：

第 11 回策定委員会で相当議論した結果を踏まえた回答案であり、当委員会としてご承認いただいたものは掲載した。

○委員：

「可能」をどう捕らえるかによるが、数値化が可能なものは全部書いたという誤解を与えるといけないので、現状で可能なものについては記載したとした方がよいのではないか。

○委員：

回答案を変更することについて何か支障があるか。

○事務局：

例えば、「事業については、数値化が可能な限り明記しています。」などの表現を折衷案として提案したい。

○委員：

言葉面に関することであるため、その程度で良いのではないか。

○会長代行：

それでは、これまでの議論を踏まえ、パブコメ回答案は修正することとする。

(異議なし)

○会長代行：

では、項目 1「福祉関連」については、報告書には入れずに市作成の「産業振興マスタープラン」に反映することを検討する。項目 12 の「数値」については、「事業については、数値化が可能な限り明記しています。」といった表現にするということとする。

(4) 前回委員会で会長預かりになった事項について

○事務局：

会長と個別協議した結果、54 ページのマッチング・コーディネートの支援の目標値は、平成

24年度と25年度それぞれ2件とした。55ページのものづくり体験の促進の目標値は、平成24年度と25年度それぞれ工場見学受入1社とした。63ページの商店会・商工会への加入促進の目標値は、平成24年度と25年度それぞれ商工会加入率40パーセント（努力目標）とした。また、数値目標と工業立地の探索については、124ページの冒頭に報告書策定にあたってを追記した。

○委員：

54ページのマッチング・コーディネート支援の現状の取り組み件数は何件か。目標値は、現状と比べて増えるのか減るのか。工場見学、商工会加入率も同様に現状を教えてください。

○事務局：

手元にデータを持ちあわせていないため、いま確認の時間をいただきたい。
(確認のため、一時離席)

○事務局：

確認の結果、マッチング・コーディネート支援の現状は0、工場見学の現状は0、商工会の加入率は36.78パーセント（平成23年1月21日現在）ということであった。

(5) その他

○事務局：

今後のスケジュールだが、まず2月3日に市長に報告する。報告は会長と副会長からとする。そして市長意見を踏まえ、西東京市のマスタープランとして完成させる。その際は写真やイラストの挿入、用語解説の添付、データの時点修正などを行う。

○委員：

プランは議会にかけるのか。

○事務局：

報告となる。

(6) 閉会

○会長代行：

これで終了する。

○事務局：

これまで12回の委員会を開催いたしました。長期にわたりありがとうございました。

以上